

注3

大学番号：私120

[平成21年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

千葉科学大学 危機管理学部 動物・環境システム学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 加計学園

平成23年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	14
4	既設大学等の状況	15
5	教員組織の状況	19
6	留意事項に対する履行状況	32
7	その他全般事項	33
	別紙 1	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

千葉科学大学

(3) 大学の位置

〒288-0025 (〒700-0005)
千葉県銚子市潮見町3 (岡山県岡山市北区理大町1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (平成13年1月)		
学長	(ヒラノ トシスケ) 平野 敏右 (平成16年4月)	(アカギ ヤスハル) 赤木 靖春 (平成22年4月)	平成22年4月1日、任期満了に伴う学長変更 (平成22年2月15日届出済) (22)
学部長	(フジタニ ノボル) 藤谷 登 (平成18年4月)		
学科長等		(イシダ ノブヒロ) 石田 信宏 (平成22年4月)	平成22年4月1日、開設に伴う学科長決定 (22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
危機管理学部 動物・環境 システム学科 学士(危機管理)	4年	60人	3年次 5人	250人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学		
A 入学定員	60人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	60人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	60人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	0.76 倍	
志願者数	127 (-) [23]	- (-) [-]	93 (-) [12]	- (-) [-]	122 (0) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	119 (-) [18]	- (-) [-]	91 (-) [10]	- (-) [-]	118 (0) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	102 (-) [16]	- (-) [-]	74 (-) [10]	- (-) [-]	112 (0) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	53 (-) [14]	- (-) [-]	40 (-) [7]	- (-) [-]	46 (0) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.88		0.66		0.76					

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[14] 54	[-] -	[9] 46	[-] -	[3] 50	[-] -	[]	[]	他学科より転学科のため54名となった(21) 退学者6名(1年次)、留年者6名(1→2)、他学科へ転学科2名、再入学2名(2年次) (22) 退学者4名、留年:(2→3)1名、(1→2)4名(23)
2年次	/		[7] 42	[-] -	[7] 40	[-] -	[]	[]	
3年次	/		/		[6] 41	[-] -	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[14] 54		[16] 88		[16] 131		[]		

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20~22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [4]	(累積)計 [14] 54	9.3%
	うち平成21年度入学者 5人	うち平成21年度 54人	
	(主な退学理由) ・進路変更 3人 ・意欲減退 1人 ・進路変更 1人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [2]	(累積)計 [16] 88	5.7%
	うち平成21年度入学者 4人	うち平成21年度 42人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 46人	
(主な退学理由) ・家庭事情 1人 ・学納金未納 4人			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [16] 131	0.0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 41人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 40人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 50人	

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	由	教授	准教授	講師	助教		助手	
一般基礎科目	外国語 日本語理解	1前 2前		2								教育課程の充実を図るため、配当年次を変更(21)	
	日本語表現	1後 2後		2								教育課程の充実を図るため、配当年次を変更(21)	
専攻科目	危機管理学入門Ⅱ 危機管理学入門Ⅰ(環境)	1前	2 1			1						学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22) 教育内容の充実を図るため、単位数を変更(23)	
	危機管理学入門Ⅲ 危機管理学入門Ⅱ(防災)	1後	1									学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22)	
	危機管理学入門Ⅰ 危機管理学入門Ⅲ(リスク・危機)	1前	2 1									学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22) 教育内容の充実を図るため、単位数を変更(23)	
	危機管理と社会制度	1後		2									
	国際協力論	3前		1									
	リスクマネジメント	2前		2									
	リスク・危機コミュニケーション	2後		2									
	学部共通基礎科目 救命救助法入門	1後		1									学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。教育内容充実のため講義形式をオムニバスとし、新たに専任教授を科目担当教員として追加。(22)
	消防と防災	2前		2			1 1						教育内容充実のため講義形式をオムニバスに変更(22)
	災害と医療	2後		2									学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。教育内容充実のため講義形式をオムニバスに変更。(22)
	生命と工学	1後			2		0 1						専任准教授の退職に伴う削除。教育内容充実のため講義形式をオムニバスに変更し、新たに各2名の専任教授及び専任講師を科目担当教員として追加。(22)
	健康と環境	2前			2		1 2		1 2		2		教育内容を見直し、科目担当教員を変更(23)
	ヒューマン・アニマル・ボンドの科学	1後			2								科目区分を学部共通基礎科目から学科基礎科目に変更(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通基礎科目	教養ゼミナールⅠ	1前	1			8 7	2 1 3	3 2		0 1 2	昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 新たに専任教授、専任准教授を配属したため、科目担当教員の変更(23)
	教養ゼミナールⅡ	1後	1			8 7	2 1 3	3 2		0 1 2	昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 新たに専任教授、専任准教授を配属したため、科目担当教員の変更(23)
	キャリアデザインⅠ	1後	1								
	キャリアデザインⅡ	2前	1								
	就業力育成特論	3通	2								
専攻科目	ボランティア活動	1・2・3・4		1		1 8 7	0 1 3	0 3 2		0 1 2	昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 単位認定者を学科長に変更(23)
学科基礎科目	基礎数学	1前	2			0 1					学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。(22)
	基礎数学演習	1前	1			0 1					学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。(22)
	実用数学	1後		2		0 1					学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。(22)
	実用数学演習	1後		1		0 1					学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。(22)
	物理学Ⅰ	1前	2			1					
	物理学Ⅱ	1後	2			1					
	化学Ⅰ	1前	2				0 1				本間准教授退職に伴い担当教員を変更。(22)
	化学Ⅱ	1後	2				0 1				本間准教授退職に伴い担当教員を変更。(22)
	生物学Ⅰ	1前	2			1					
	生物学Ⅱ	1後	2			1					
地学Ⅰ	1前	2				1					
地学Ⅱ	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目 学科基礎科目	情報リテラシー	1前	2			1				0 +	横田助教退職。他に科目担当専任教員がいるため教育上支障はない(22)
	ヒューマン・アニマル・ボンドの科学	1後		2							科目区分を学部共通基礎科目から学科基礎科目に変更(23)
	物理学実験	2後 2前		1		2 +				0 +	学生履修を考慮し、生物学実験の開講期変更に伴う開講期を変更。(22) 横田助教退職。新たに1名の専任教員及び2名の兼任教員を追加しているため教育上支障はない。(22)
	化学実験	2前		1			0 +			0 +	本間准教授、横田助教退職。新たに兼任教員及び兼任教員を追加しているため教育上支障はない。(22)
	生物学実験	2前 2後		1		1		1			実験対象の生物確保のため開講期を変更(22) 教育内容充実のため新たに専任教授を科目担当教員として追加。(22)
	地学実験	2後		1			1	1		+	昇格により助教から講師へ移動(21)
	基礎統計学	2前	2								
	応用統計学	2後		2							
	CAD入門	2前		1		1 0 +					教育効果の向上のため、科目担当教員を専任教員から兼任教員へ変更(22) 教育の充実を図るため、新たに専任教授を科目担当者として追加(23)
	地理情報(GIS)入門	2後		2		1					
	測量学基礎	2後		2							教育の充実を図る理由により科目を追加(22)
	測量学応用	3前		2							教育の充実を図る理由により科目を追加(22)
	測量実習	2後		1							教育の充実を図る理由により科目を追加(22)
	動物・環境ゼミナールI	2前	1			2 8 7	0 +	2 3 2	0 +	昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 教育内容を見直し、科目担当教員を変更(23)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	動物・環境ゼミナールⅡ	2後	1			4 8 7	0 1 3	2 3 2	0 1 2		昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 教育内容を見直し、科目担当教員を変更(23)	
	文献講読Ⅰ	3前	1			6 8 7	1 3	3 2	0 1 2		昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 教育内容を見直し、科目担当教員を変更(23)	
	文献講読Ⅱ	3後	1			6 8 7	1 3	3 2	0 1 2		昇格により助教から講師へ移動(21) 専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22) 教育内容を見直し、科目担当教員を変更(23)	
専攻科目	野生動物保全学	1後		2					1			教育効果の向上のため開講期を変更(23) 本間准教授退職に伴う科目担当教員の変更(22) 教育内容充実のため講義形式をオムニバスとし、新たに専任准教授を科目担当教員として追加。(23) 教育効果の向上のため開講期を変更(23) 教育内容の見直しを行い、単位数を変更(22) 教育内容の見直しを行い、単位数を変更(23) 本間准教授退職に伴う科目担当教員の変更(22)
	動物学Ⅰ(哺乳動物)	2前		2					1			
	動物学Ⅱ(は虫類・両生類)	2前 2後		2					1			
	動物学Ⅲ(鳥類)	2後		2					1			
	分類学	3前		2								
	環境生態学	2後		2			0 4		1			
	植生学	2前		2								
	動物機能形態学	3前		2			1					
	遺伝子育種学	2前		2								
	動物行動学	3前 3後		2					1			
	動物関連法規	3前		2 1								
	動物社会学	3後		2					1			
	免疫学	2後		2								
環境の生化学	3前		2		1							
環境の生理学	3前		2		1	0 4						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
動物学コース専門科目	動物栄養学	3後 3前		2 1								教育内容の見直しを行い、開講期、単位数を変更 (23)
	動物繁殖学	3後		2 1								教育内容の見直しを行い、単位数を変更 (22) 教育内容の見直しを行い、単位数を変更 (23)
	動物疾病学	3前		2								
	ウイルス感染学	2前		2								
	人畜共通感染症学	4前		2		1						専任教授を科目担当教員として追加 (23)
	特別講義	3通		1		1	1					専任教授、准教授を科目担当教員として追加 (23)
	動物学実験	3通		4		1 2	0 1		1			専任准教授退職及び改組に伴う専任教授の異動。他に担当専任教員がいるため教育上支障はない。(22)
専攻科目	海洋と生物	1後		2					1			
	水環境の化学	2前		2		1						
	危険物質の科学	2前		2								
	陸水の科学	2前		2		1						
	水質の化学	3後		2		1						
	海洋の科学	2前 2後		2					1			教育効果の向上のため開講期を変更 (22)
	魚類学	2前		2					1			教育効果の向上のため兼任教員から専任教員へ科目担当教員の変更 (22)
	水産動物学	2後		2					1			
	魚類飼育理論	3前		2								
	環境毒性学	3後 3前		2		1						教育効果の向上のため講義形式をオムニバス形式に変更し、開講期を変更 (23)
	化学物質リスク管理論	3後		2		1						本間准教授退職に伴う科目担当教員の変更 (22) 教育内容の充実を図り、新たに専任准教授を科目担当教員として配置 (23)
	食品安全の科学	3前		2							1 0 1	
	波と流れの科学	3後		2								
微生物学	2前		2									
分析化学	2後		2		0 1				0 1		横田助教退職に伴う科目担当教員の変更 (22) 教育効果の向上のため講義形式をオムニバス形式に変更し、担当教員を変更 (23)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
マリンバイオコース 専門科目	機器分析学	3前		2		0 +					教育効果の向上のため講義形式をオムニバス形式に変更し、担当教員を変更 (23)	
	アクアテクノロジー	2前		2								
	バイオテクノロジー	3後		2		1						
	ダイビング実習	1・2・3・4		1				1				教育の充実を図る理由により科目を追加 (22)
	マリンバイオ実験	3通		4		1		1	0 +			横田助教退職。他に担当専任教員がいるため教育上支障はない。(22)
専攻科目 環境科学コース 専門科目	環境科学	1後		2		1					学部改組に伴ない専任教員から兼任教員に変更。(22) 昇格により助教から講師へ移動(21) 昇格により助教から講師へ移動(21) 昇格により助教から講師へ移動(21) 昇格により助教から講師へ移動(21) 教育効果の向上のため開講期を変更(22) 教育の充実を図る理由により科目を追加(23) 教育の充実を図る理由により科目を追加(23)	
	気象学	2前		2		1						
	大気科学	2後		2		1						
	地球温暖化論	3前		2		1						
	リモートセンシング	3後		2			0 +					
	地形・地質学	2前		2				1	+			
	環境地球科学	2後		2		1						
	地球環境と生命の歴史	2前		2				1	+			
	粘土と土壌の科学	3前		2				1	+			
	地球環境の化学	3後		2		1						
	地震と火山の科学	2後		2								
	資源エネルギー科学	2前		2		1						
	廃棄物の処理	2後		2			1					
	循環型社会論	3前		2			1					
	地域環境保全論	2前 2後		2			1					
	ライフサイクル分析	3後		2			1					
	生活環境の科学	2前		2		1						
地震と災害	3前		2		1							
気象と災害	3後		2		1							
環境アセスメント	3後		2		1							
環境管理法体系	3前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	環境科学コース専門科目 環境科学実験	3通		4		5 3	1 2	1	1		専任准教授退職及び改組に伴う専任教授の異動。他に担当専任教員がいるため教育上支障はない。(22) 教育の充実を図る理由により科目担当教員を追加(23)
	総合科目 野外調査法および実習	3後		2				2 4	0 1 2		昇格により助教から講師へ移動(21) 横田助教退職。他に担当専任教員がいるため教育上支障はない。(22)
	卒業研究	4通	8			7 6	1 3	2	1 2	0	専任准教授、専任助教退職及び改組に伴う専任教授、専任准教授の異動により科目担当教員の変更。(22)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
34科目	103科目	0科目	137科目	35科目	109科目	0科目	144科目	教育内容充実のため、新たに「測量学基礎」「測量学応用」「測量実習」「ダイビング実習」の4科目を選択科目として追加(22) 教育内容充実のため、新たに「就業力育成特論」を必修科目として、「地震と災害」「気象と災害」の2科目を選択科目として追加(23)
				[+1]	[+6]	[-]	[+7]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	危機管理学入門Ⅰ(環境)	1	1	専門	必修	学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に危機管理学入門Ⅱに科目名称を変更。(22)
2	危機管理学入門Ⅱ(防災)	1	1	専門	必修	学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に危機管理学入門Ⅲに科目名称を変更。(22)
3	危機管理学入門Ⅲ(リスク・危機)	1	1	専門	必修	学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に危機管理学入門Ⅰに科目名称を変更。(22)

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は無い。廃止科目は危機管理学入門Ⅰ(環境)、危機管理学入門Ⅱ(防災)、危機管理学入門Ⅲ(リスク・危機)の3科目については、科目名称をそれぞれ危機管理学入門Ⅱ、危機管理学入門Ⅲ、危機管理学入門Ⅰとして同等の教育を行っている。また、学生への周知方法として、平成22年度以前の学生には前期・後期が始まる際に学科毎のオリエンテーションを実施し、学生への周知を徹底した。平成23年度以降の入学者に学生便覧・シラバス等に置いて周知しており、影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{137} = 0.02$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	91,883 m ² 102,822 m ²	0 m ²	0 m ²	91,883 m ² 102,822 m ²	借用地 98,395.12m ² 借用期間 平成15年4月1日より 30年間		
	運動場用地	19,478 m ²			19,478 m ²			
	小 計	111,361 m ² 122,300 m ²	0 m ²	0 m ²	111,361 m ² 122,300 m ²	学生及び教職員用駐 車場のため、新たに 9,038.71m ² を鶴子市 より無償借用し、 キャンパス内の駐車 場を整備 (23)		
	そ の 他	19,977 m ² 0 m ²	0 m ²	0 m ²	19,977 m ² 0 m ²			
	合 計	131,388 m ² 122,300 m ²	0 m ²	0 m ²	131,388 m ² 122,300 m ²			
(2) 校 舎	専 用	29,687 m ² 29,370 m ² 27,260 m ² (27,260 m ²)	共 用 0 m ² (0 m ²)	共用する他の 学校等の専用 0 m ² (0 m ²)	計 29,687 m ² 29,370 m ² 27,260 m ² (27,260 m ²)	大学全体 平成21年7月5号館完 成に伴ない、校舎面 積の変更 (22) 平成22年6月実習棟を 新築 (23)		
	講義室	24 室 22 室	演習室 57 室 55 室	実験実習室 117 116 室 109 室	情報処理学習施設 5 室 4 室 (補助職員 0 人) (補助職員 4 人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 0 人) (補助職員 4 人) (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の配属に伴い、 研究室の整備 (23)		
	危機管理学部 動物・環境システム学科			14 13 14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	表記を変更 (23) 危機管理学部全体と しての数
	危機管理学部 動物・環境 システム学科	25,800 [3,700] 9,500 [-2,000] (9,500 [2,000])	120 [41] 100 [-40] (100 [40])	24 [24] 20 [-20] (20 [20])	172 70 (70)	27,781 10,286 (10,286)	113 90 (90)	図書 10,200[1,200] 学術雑誌 61 [41] 電子ジャーナル 13 [13]
	計	25,800 [3,700] 9,500 [-2,000] (9,500 [2,000])	120 [41] 100 [-40] (100 [40])	24 [24] 20 [-20] (20 [20])	172 70 (70)	27,781 10,286 (10,286)	113 90 (90)	機械・器具、標本は大学 全体
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 席 座 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,258.62 m ²		256		83,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	2,390.27 m ²		テニスコート 2面 なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は大学全 体の経費として計 上。 表記を変更 (23)
		教員 1 人当り研究費等	1,276 千円 1,276 千円	459 千円 1,276 千円	図書購入費	0 千円	0 千円	
	共同研究費等	40,000 千円	2,000 千円 40,000 千円	設備購入費	0 千円	0 千円	37,000 千円 0 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次 1,600 千円	第 2 年次 1,350 千円	第 3 年次 1,350 千円	第 4 年次 1,350 千円	第 5 年次 -	第 6 年次 -	
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料等を持ってあてる					

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている
いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 23 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その
理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を
併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	千葉科学大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院 薬科学研究科 薬科学専攻 修士課程 修士課程 博士課程（後期）	2 2 3	- 10 5	- - -	- 20 10	修士（薬科学） 修士（薬科学） 博士（薬科学）	- 0.95 0.60	平成20年度 平成22年度 平成22年度	千葉県銚子市潮見町3番地	平成18年度より薬学部薬学科を6年制課程へ移行し、薬学部薬科学科を設置。 平成20年度より薬学部動物生命薬科学科を設置。	
危機管理学研究科 危機管理学専攻 修士課程 博士課程（後期）	2 3	5 3	- -	10 6	修士（危機管理学） 博士（危機管理学）	1.80 0.33	平成20年度 平成22年度		平成20年度より大学院薬科学研究科薬科学専攻修士課程及び同危機管理学研究科危機管理学専攻修士課程を設置。	
大学 薬学部			4年次			- ※				※ 薬学部の平均充足率は経過年数が薬学科が6年、生命薬科学科が2年であり、平均値に偏りが出るため未記載。
薬学科	6	120	10	915	学士（薬学）	0.85	平成18年度			
薬科学科	4	-	-	-	学士（薬科学）	-	平成18年度			
動物生命薬科学科	4	-	-	-	学士（動物生命薬科学）	-	平成20年度			
生命薬科学科	4	50	-	100	学士（生命薬科学）	0.56	平成22年度			
危機管理学部						0.90				平成21年度より危機管理学部防災システム学科及び環境安全システム学科を募集停止し、動物・環境システム学科、医療危機管理学科を設置。
防災システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-	平成16年度			
環境安全システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-	平成16年度			
危機管理システム学科	4	100	5	375	学士（危機管理）	1.08	平成16年度			
動物・環境システム学科	4	60	5	185	学士（危機管理）	0.77	平成21年度			
医療危機管理学科	4	80	5	265	学士（危機管理）	1.02	平成21年度			
航空・輸送安全学科	4	40	5	80	学士（危機管理）	0.45	平成22年度			
									平成22年度より旧4年制薬学課程を基礎とする大学院薬科学研究科薬科学専攻修士課程を募集停止し、新たに新4年制薬学課程を基礎とする同薬科学研究科薬科学専攻修士課程を設置。 平成22年度より大学院薬科学研究科薬科学専攻博士課程（後期）及び同危機管理学部危機管理学専攻博士課程（後期）を設置。	

大学の名称	岡山理科大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
大学院								岡山県岡山市北区
理学研究科								理大町1番地1号
応用数学専攻修士課程	2	7	-	14	修士(理学)	0.85	昭和55年度	
化学専攻修士課程	2	16	-	32	修士(理学)	0.96	昭和49年度	
応用物理学専攻修士課程	2	14	-	28	修士(理学)	0.46	昭和49年度	
総合理学専攻修士課程	2	13	-	26	修士(理学)	0.68	昭和63年度	
生物化学専攻修士課程	2	14	-	28	修士(理学)	0.96	平成4年度	
臨床生命科学専攻修士課程	2	12	-	24	修士(理学)	1.08	平成20年度	平成20年度より理学研究科臨床生命科学専攻を設置
応用数学専攻								
博士課程(後期)	3	4	-	12	博士(理学)	0.00	昭和62年度	
材質理学専攻								
博士課程(後期)	3	9	-	27	博士(理学)	0.29	昭和53年度	
工学研究科								
応用化学専攻修士課程	2	13	-	26	修士(工学)	0.57	平成2年度	
機械システム工学専攻								
修士課程	2	14	-	28	修士(工学)	1.13	平成2年度	・名称変更 平成17年度より工学研究科機械工学専攻→機械システム工学専攻 総合情報研究科シミュレーション物理専攻→シミュレーション科学専攻
電子工学専攻修士課程	2	8	-	21	修士(工学)	0.52	平成2年度	
情報工学専攻修士課程	2	10	-	23	修士(工学)	1.05	平成8年度	
知能機械工学専攻								
修士課程	2	7	-	15	修士(工学)	1.06	平成21年度	
生体医工学専攻修士課程	2	6	-	6	修士(工学)	0.83	平成23年度	平成21年度より工学研究科福祉システム工学専攻を募集停止し、知的機械工学専攻を設置
建築学専攻修士課程	2	8	-	8	修士(工学)	0.87	平成23年度	
システム科学専攻								
博士課程(後期)	3	5	-	15	博士(工学)	0.33	平成2年度	
総合情報研究科								
情報科学専攻修士課程	2	6	-	13	修士(総合情報)	1.66	平成13年度	平成23年度より工学研究科生体医学専攻、建築学専攻を設置
シミュレーション科学専攻								
修士課程	2	3	-	7	修士(総合情報)	1.04	平成13年度	
生物地球システム専攻								
修士課程	2	6	-	13	修士(総合情報)	1.04	平成13年度	
社会情報専攻修士課程	2	6	-	13	修士(総合情報)	1.17	平成13年度	
数理・環境システム専攻								
修士課程(後期)	3	2	-	6	博士(学術)	1.08	平成15年度	
大学								
理学部						1.14		
応用数学科	4	95	-	350	学士(理学)	1.29	昭和39年度	平成20年度より理学部動物学科を設置
化学科	4	70	-	295	学士(理学)	0.95	昭和39年度	
応用物理学科	4		-		学士(理学)		昭和41年度	
物理科学専攻	4	30	-	120	学士(理学)	0.95	昭和41年度	
医用科学専攻	4	40	-	160	学士(理学)		平成14年度	
基礎理学科	4	75	-	300	学士(理学)	1.11	昭和50年度	・名称変更 平成18年度より応用化学科応用化学専攻、生物・環境化学専攻→バイオ・応用化学科
生物化学科	4	85	-	340	学士(理学)	1.26	昭和63年度	
臨床生命科学科	4	85	-	340	学士(理学)	1.18	平成16年度	
動物学科	4	40	-	160	学士(理学)	1.32	平成20年度	

5 教員組織の状況

<危機管理学部 動物・環境システム学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮林 正恭 (66)	平成21年4月	科学の歴史	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	教養ゼミナールⅠ	副学長の職務遂行のため、科目担当教員から削除。他の学科専任教員全員が科目担当教員であり、影響はない。(23)
				リスク危機管理論					教養ゼミナールⅡ	
				ボランティア活動					ボランティア活動	
				動物・環境ゼミナールⅠ					動物・環境ゼミナールⅡ	
専	教授	船倉 武夫 (58)	平成21年4月	教養特別講義	専	教授	小川 信行 (67)	平成22年4月	教養特別講義	教育内容を改善し、担当教員を小教職人兼担教員に一任(22)
				消防と防災 生命と工学					消防と防災※ 生命と工学※	学部改組に伴い、担当教員が他学科に異動したため、専任から兼担へ教員の区分を変更。教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
				教養ゼミナールⅠ					教養ゼミナールⅠ	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)
				教養ゼミナールⅡ					教養ゼミナールⅡ	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)
				ボランティア活動					ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
				動物・環境ゼミナールⅠ					動物・環境ゼミナールⅠ	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)
				動物・環境ゼミナールⅡ					動物・環境ゼミナールⅡ	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)
				文献講読Ⅰ					文献講読Ⅰ	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)
				文献講読Ⅱ					文献講読Ⅱ	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)
				基礎数学					基礎数学	学部改組に伴い、担当教員が他学科に異動したため、専任から兼担へ教員の区分を変更。(22)
基礎数学演習	基礎数学演習	学部改組に伴い、担当教員が他学科に異動。複数教員担当科目のため、教育的配置を行っている。(22)								
実用数学	実用数学	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)								
実用数学演習	実用数学演習									
動物学実験	動物学実験	学部改組に伴い、新たに専任教員を配属。(22)								
卒業研究	卒業研究									

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	坂本 尚史 (62)	平成21年4月	危機管理学入門Ⅰ(環境)					危機管理学入門Ⅱ	学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22)
				教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動	兼任	助教	畑 明寿 (29)	平成23年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22) より教育内容に即した科目担当教員に変更(23)
				地学Ⅱ	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
				動物・環境ゼミナールⅠ					動物・環境ゼミナールⅠ	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)
				動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境科学 環境地球科学 地球環境の化学 資源エネルギー科学 環境科学実験 卒業研究						
専	教授	忠鉢 繁 (60)	平成21年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
				物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学実験						
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ					動物・環境ゼミナールⅡ	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)
				文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 気象学 大気科学 地球温暖化論 環境科学実験 卒業研究						
				教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ						
専	教授	石田 信宏 (51)	平成21年4月	動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境の生化学 動物学実験 バイオテクノロジー 卒業研究				平成22年4月	生物学実験	教育的配慮のため、専任教員を追加(22)

届出時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	亀井 翼 (67)	平成21年4月	教養ゼミナールⅠ				平成22年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)	
				教養ゼミナールⅡ							
				ボランティア活動	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)	
				動物・環境ゼミナールⅠ					動物・環境ゼミナールⅠ	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)	
				動物・環境ゼミナールⅡ							
				文献講読Ⅰ							
				文献講読Ⅱ							
				水環境の化学							
				陸水の科学							
				水質の化学	兼担	教授	安田 一郎 (62)	平成23年3月	環境毒性学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)	
				環境毒性学	兼担	准教授	足立 達美 (46)	平成23年3月	環境毒性学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)	
					兼担	講師	仁藤 慎一 (56)	平成23年3月	環境毒性学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)	
化学物質リスク管理論											
機器分析学	兼担	教授	澁川 明正 (52)	平成23年3月	機器分析学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)					
	兼担	講師	大高 泰靖 (37)	平成23年3月	機器分析学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)					
マリンバイオ実験											
卒業研究											
専	教授	高山 啓子 (60)	平成21年4月	教養ゼミナールⅠ				平成22年4月	消防と防災※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)	
				教養ゼミナールⅡ							
				ボランティア活動	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)	
				情報リテラシー							
				CAD入門							
				地理情報(GIS)入門	専	教授	高山 啓子 (62)	平成23年4月	地理情報(GIS)入門	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22) 教育的配慮のため、専任教員を追加(23)	
				動物・環境ゼミナールⅠ					動物・環境ゼミナールⅠ	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)	
				動物・環境ゼミナールⅡ							
				文献講読Ⅰ							
				文献講読Ⅱ							
				生活環境の科学							
				環境アセスメント							
環境科学実験						環境科学実験	科目の教育内容を見直し、担当教員を削除(23)				
						動物学実験	科目の教育内容を見直し、担当教員を追加(23)				
卒業研究											
					専	教授	田中 厚成 (68)	平成22年4月	物理学実験	教育的配慮のため、専任教員を追加(22)	
								平成23年4月	気象と災害	教育の充実を図る理由により科目を追加(23)	

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
					専	教授	小川 信行 (68)	平成23年4月	環境科学実験 地震と災害	教育的配慮のため、専任教員を追加(23) 教育の充実を図る理由により科目を追加(23)
専	准教授	安藤 生大 (41)	平成21年4月	健康と環境				平成22年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
				教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動 地学Ⅰ 地学実験 動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 廃棄物の処理 循環型社会論 地域環境保全論 ライフサイクル分析 環境科学実験 卒業研究	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
専	准教授	本間 知夫 (46)	平成21年4月	健康と環境	兼任	講師	小濱 剛 (38)	平成22年4月	健康と環境※	本間知夫准教授辞任。教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を変更(22)
				教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動	専	教授	柴原 寿行 (60)	平成23年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ	本間知夫准教授辞任。学科教員全員が科目担当であり、教育的配慮を行っている(22) 教育的配慮のため、専任教員を新たに追加(23)
				化学Ⅰ 化学Ⅱ 化学実験 動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学 環境の生理学 動物学実験 食品安全の科学 卒業研究	専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	本間知夫准教授辞任。学科教員全員が科目担当であり、教育的配慮を行っている(22) 複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学	兼任	講師	森本 孝 (70)	平成22年4月	化学Ⅰ 化学Ⅱ	本間知夫准教授辞任のため、担当者の変更(22)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学	兼任	助教	野口 拓也 (31)	平成23年4月	化学実験	本間知夫准教授辞任のため、担当内容充実のため担当者の変更(23)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学					動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ	本間知夫准教授辞任。学科教員全員が科目担当であり、教育的配慮を行っている(22)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学	専	講師	森田 孝晴 (42)	平成22年4月	環境生態学	本間知夫准教授辞任のため、担当者の変更(22)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学	専	教授	石田 信宏 (52)	平成23年4月	環境の生理学	本間知夫准教授辞任のため、担当者の変更(22)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学					動物学実験	本間知夫准教授辞任。複数教員担当科目のため、教育的配慮を行っている。(22)
				動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学	兼任	講師	前河 裕一 (40)	平成23年4月	食品安全の科学	本間知夫准教授辞任のため、担当者の変更(22) 教育効果向上のため、担当者の変更(23)
動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 環境生態学					卒業研究	本間知夫准教授辞任。同一分野の専任教員がいるため、教育上支障はない。(22)				

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	助教	地下 まゆみ (34)	平成21年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動	専	講師	地下 まゆみ (34)	平成22年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
								平成21年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ	助教から講師に昇任(21)
					専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	助教から講師に昇任(21) 複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
					専	講師	地下 まゆみ (34)	平成23年4月	動物・環境ゼミナールⅠ 動物・環境ゼミナールⅡ 文献購読Ⅰ 文献購読Ⅱ	科目の教育内容を見直し、担当教員を追加(23)
			平成21年4月	地学実験 地形・地質学 粘土と土壌の科学 地球環境と生命の歴史 環境科学実験 野外調査法および実習	専	講師	地下 まゆみ (34)	平成21年4月	地学実験 地形・地質学 粘土と土壌の科学 地球環境と生命の歴史 環境科学実験 野外調査法および実習	助教から講師に昇任(21)
専	助教	横田 久里子 (34)	平成21年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ ボランティア活動 情報リテラシー 物理学実験 化学実験 分析化学 マリンバイオ実験 野外調査法および実習	専	准教授	堀本 政夫 (56)	平成23年4月	教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ	平成21年8月横田久里子助教辞任。 学科教員全員が科目担当であり、教育的配慮を行っている(22) 教育的配慮のため、専任准教授を新たに追加(23)
					専	教授	石田 信宏 (53)	平成23年4月	ボランティア活動	平成21年8月横田久里子助教辞任。 学科教員全員が科目担当であり、教育的配慮を行っている(22) 複数の学科担当教員が実習に参加するが、単位認定者を当該学科長に変更したため、担当教員の変更(23)
									情報リテラシー 物理学実験	平成21年8月横田久里子助教辞任。 複数教員担当科目であるため、教育上支障はない。(22)
					兼担	教授	高 黎 静 (50)		化学実験	平成21年8月横田久里子助教辞任のため、担当教員の変更(22) 受講者減少のため担当教員を削除(23)
					兼担	教授	澁川 明正 (52)	平成23年4月	分析化学	平成21年8月横田久里子助教辞任のため、担当教員の変更(22) 教育内容充実のため、科目担当教員を変更(23)
									マリンバイオ実験 野外調査法および実習	平成21年8月横田久里子助教辞任。 複数教員担当科目のため、教育的配慮を行っている。(22)
兼担	教授	大熊 治生 (59)	平成21年4月	生活と文化 人間と芸術						
兼担	教授	小枝 義人 (54)	平成21年4月	政治の仕組み 社会の構造 教養特別講義 企業等体験実習						
兼担	教授	浅原 富士夫 (61)	平成21年4月	経済の仕組み						
兼担	教授	高谷 尚志 (63)	平成22年4月	企業情報特論 リスク・危機コミュニケーション						
兼担	教授	藤原 洋樹 (65)	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
							平成23年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	教育的配慮のため、兼担教員を追加(23)	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	永峰 卓夫 (68)	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
								平成23年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	教育的配慮のため、兼任教員を追加(23)
兼任	教授	酒井 明 (64)	平成21年4月	危機管理と社会制度 リスクマネジメント						
兼任	教授	若林 芳雄 (58)	平成22年4月	国際協力論 基礎統計学 応用統計学	兼任	教授	ムウエー・ムアカ (49)	平成23年4月	国際協力論	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)
兼任	教授	井上 安敏 (67)	平成21年4月	消防と防災 生命と工学	兼任	教授	嶋村 宗正 (57)	平成21年4月	消防と防災※	平成21年3月井上安敏教授辞任のため担当者の変更(21) 教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
					兼任	教授	ムウエー・ムアカ (47)	平成21年4月	生命と工学※	平成21年3月井上安敏教授辞任のため担当者の変更。兼任教員の新規採用(21) 教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
					兼任	教授	黒木 尚長 (50)	平成22年4月	消防と防災※ 災害と医療※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
					兼任	教授	高 黎 静 (50)	平成22年4月	消防と防災※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
					兼任	教授	村田 文生 (59)	平成22年4月	消防と防災※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
兼任	教授	藤谷 登 (56)	平成22年4月	災害と医療 健康と環境				平成22年4月	災害と医療※ 健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
兼任	教授	三村 邦裕 (54)	平成22年4月	災害と医療 健康と環境				平成22年4月	災害と医療※ 健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
兼任	教授	狩野 勉 (62)	平成21年4月	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ					物理学Ⅰ 物理学Ⅱ	受講者減少に伴う、担当教員の削除。他に科目担当教員がいるため教育上支障はない(22)
兼任	教授	柴原 壽行 (58)	平成23年4月	動物関係法規 動物疾病学 人畜共通感染症学 特別講義	専	教授	柴原 壽行 (60)	平成23年4月	動物関係法規	教育の充実を図り、兼任教授から専任教授へ学科の所属を変更(23)
					兼任	教授	田中 紀子 (60)	平成23年4月	動物疾病学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22)
					兼任	講師	内川 隆一 (55)	平成23年4月	動物疾病学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22)
					専	教授	柴原 壽行 (60)	平成24年4月 平成23年4月	人畜共通感染症学 特別講義	教育の充実を図り、兼任教授から専任教授へ学科の所属を変更(23)
兼任	教授	伊藤 正樹 (50)	平成23年4月	特別講義						
兼任	教授	松本 治 (48)	平成23年4月	特別講義	専	教授	堀本 政夫 (56)	平成23年4月	特別講義	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)
					兼任	教授	増澤 俊幸 (53)	平成23年4月	特別講義	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)
					兼任	准教授	高崎 みどり (49)	平成23年4月	特別講義	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)
					兼任	講師	内川 隆一 (55)	平成23年4月	特別講義	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	藤田 清貴 (57)	平成22年4月	ウイルス感染学 微生物学				平成22年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
								平成23年4月	災害と医療※	教育効果の向上のため、科目担当教員を追加(23)
					兼任	講師	森田 耕司 (56)	平成23年4月	ウイルス感染学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22) 教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(23)
					兼任	講師	太田 敏子 (68)	平成23年4月	微生物学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22) 熊取厚志兼担准教授退職に伴い、科目担当教員の変更(23)
兼任	准教授	橋本 裕蔵 (55)	平成21年4月	生活と法律 日本国憲法 世界と日本						
兼任	准教授	木村 栄宏 (51)	平成21年4月	教養特別講義 <small>危機管理学入門Ⅰ(リスク・危機)</small> キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	兼任	教授	木村 栄宏 (51)		教養特別講義	准教授から教授に昇任(21) 教育内容を改善し、担当教員を小枝義人兼担教員に一任(22)
									危機管理学入門Ⅰ	准教授から教授に昇任(21) 学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22)
								平成22年4月	消防と防災※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
									キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	准教授から教授に昇任(21)
		平成23年4月	就業力育成特論	教育内容充実を図るため、新たに講義科目を追加(23)						
兼任	准教授	小坂 栄一 (62)	平成21年4月	教養特別講義 救命救助法入門 災害と医療					教養特別講義	就任辞退(21) 複数教員担当科目のため教育上の配置を行っている。(21) 教育内容を改善し、担当教員を小枝義人兼担教員に一任(22)
					兼任	講師	服部 恭介 (45)	平成21年4月	救命救助法入門	就任辞退(21) 平成21年4月から就任予定であった小坂栄一准教授就任辞退のため、担当者の変更
					兼任	准教授	櫻井 嘉信 (53)	平成22年4月	災害と医療※	就任辞退(21) 複数教員担当科目のため教育上の配置を行っている。(21) 教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
兼任	准教授	嶋村 宗正 (56)	平成22年4月	教養特別講義 消防と防災	兼任	教授	嶋村 宗正 (57)	平成21年4月	教養特別講義	准教授から教授に昇任(21) 教育内容を改善し、担当教員を小枝義人兼担教員に一任(22)
									消防と防災※	准教授から教授に昇任(21) 教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
								平成22年4月	測量実習	教育内容充実を図るため、新たに講義科目を追加(22)

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	中村 藤夫 (54)	平成22年4月	生命と工学	兼任	助教	畑 明寿 (29)	平成23年4月	災害と医療※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22) 中村藤夫兼任准教授退職のため、同一分野で担当教員を変更(23)
									平成22年4月	
兼任	准教授				兼任	准教授	福留 伸幸 (57)	平成22年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
					兼任	准教授	花井 宏尚 (39)			
兼任	准教授	熊取 厚志 (48)	平成22年4月	免疫学	兼任	講師	前河 裕一 (38)	平成23年4月	健康と環境※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22) 熊取厚志兼任准教授退職のため、同一分野で担当教員を変更(23)
					兼任	教授	藤田 清貴 (58)	平成22年4月	免疫学	
兼任	准教授	戸田 和之 (41)	平成23年4月	波と流れの科学				平成22年4月	災害と医療※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
兼任	准教授	関谷 正明 (62)	平成23年4月	環境管理法体系						
兼任	講師	戸塚 唯氏 (37)	平成21年4月	人間の心理	兼任	准教授	戸塚 唯氏 (39)	平成23年4月	人間の心理	講師から准教授に昇任(23)
兼任	講師	田井中 幸司 (38)	平成21年4月	健康の科学 スポーツ実技	兼任	准教授	田井中 幸司 (40)	平成22年4月	健康の科学 スポーツ実技	講師から准教授に昇任(22)
兼任	講師	服部 恭介 (45)	平成22年4月	災害と医療				平成22年4月	災害と医療※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
兼任	講師	岡林 徹 (36)	平成21年4月	生命と工学				平成22年4月	生命と工学※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更(22)
兼任	講師	井上 雅照 (35)	平成21年4月	基礎数学 基礎数学演習 実用数学 実用数学演習					基礎数学 基礎数学演習	井上雅照兼任講師辞任。複数教員担当科目であるため、教育上支障はない。(23)
					兼任	講師	坂本 新子 (63)	平成23年4月	実用数学 実用数学演習	
兼任	講師	竹内 崇師 (38)	平成23年4月	動物機能形態学	兼任	教授	田中 紀子 (60)	平成22年4月	動物機能形態学※	竹内崇師兼任教員就任辞退に伴う担当者の変更。教育内容の充実のため、講義形式をオムニバス形式に変更(22)
					専	准教授	堀本 政夫 (57)	平成23年4月	動物機能形態学※	
兼任	講師	田中 紀子 (58)	平成23年4月	特別講義	兼任	教授	田中 紀子 (60)	平成23年4月	特別講義	田中紀子兼任教員の採用時役職を変更(22)
兼任	講師	藤本 一雄 (37)	平成22年4月	地震と火山の科学	兼任	准教授	藤本 一雄 (38)	平成22年4月	地震と火山の科学	講師から准教授に昇任(22)
								平成22年4月	地理情報(GIS)入門	

届出時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	助教	笹野 友美 (30)	平成22年4月	生命と工学※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)	
								平成23年4月	災害と医療※		教育効果の向上のため、科目担当教員を追加(23)
					兼任	助教	粕川 正光 (38)	平成22年4月	災害と医療※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)	
									生命と工学※		教育内容の見直し、担当教員から削除(23)
								平成23年4月	健康と環境※		教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(23)
兼任	講師	清水 紀子 (39)	平成21年4月	文学と人生	兼任	講師	糸田 文 (36)	平成21年4月	文学と人生	就任辞退(21) 平成21年4月就任予定であった清水紀子講師の就任辞退による担当者の変更(21)	
兼任	講師	清水 義雄 (61)	平成21年4月	人間と芸術							
兼任	講師	中川 洋 (46)	平成21年4月	日本の歴史							
兼任	講師	筑後 則 (59)	平成21年4月	外国の歴史							
兼任	講師	坂井 素思 (58)	平成21年4月	社会の構造					社会の構造	就任辞退(21) 平成21年4月から就任予定であった坂井素思講師の就任辞退。他に担当教員がいるため支障はない。	
兼任	講師	長田 朋樹 (26)	平成21年4月	スポーツ実技							
兼任	講師	五十嵐 伸光 (50)	平成21年4月	福祉学	兼任	講師	相澤 雅則 (51)	平成21年4月	福祉学	就任辞退(21) 平成21年4月から就任予定であった五十嵐伸光講師の辞任による担当者の変更。	
兼任	講師	堀田 義太郎 (34)	平成21年4月	生命倫理学	兼任	講師	藪内 聡子 (46)	平成23年4月	生命倫理学	堀田義太郎兼任講師就任辞退のため、担当教員の変更(23)	
					兼任	講師	鈴木 昌子 (68)	平成23年4月	英語 I 英語 II	教育的配慮のため、兼任教員を追加(23)	
					兼任	講師	吉松 秀一 (63)	平成23年4月	英語 I 英語 II	教育的配慮のため、兼任教員を追加(23)	
兼任	講師	Victor Hazen (41)	平成22年4月	英会話 I 英会話 II							
兼任	講師	Takase Fabienne Marie Christine (53)	平成22年4月	英会話 I 英会話 II							
兼任	講師	Hoke, Kenneth John (64)	平成22年4月	英会話 I 英会話 II							
兼任	講師	Venkat S. Ramaswamy (67)	平成22年4月	英会話 I 英会話 II	兼任	講師	DAVID O' DONOGHUE (36)	平成23年4月	英会話 I 英会話 II	Venkat S. Ramaswamy兼任講師就任辞退のため、兼任教員の変更(23)	
					兼任	講師	武内 達郎 (33)	平成22年4月	英会話 I 英会話 II	教育的配慮のため、兼任教員を追加(22)	
					兼任	講師	Kenneth Evan Dunlop (33)	平成23年4月	英会話 I 英会話 II	教育的配慮のため、兼任教員を追加(22) Theodore Franklin Murphy Jr. 兼任講師就任辞退のため、兼任教員の変更(23)	

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 満 (67)	平成23年4月	科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	兼任	講師	佐藤 満 (70)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育的配慮のため、兼任教員の担当科目を変更(23)
兼任	講師	和久 純一 (73)	平成23年4月	科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ						
					兼任	講師	金杉 佐行 (66)	平成23年4月	科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	教育的配慮のため、兼任教員を追加(22)
兼任	講師	西山 智英子 (39)	平成21年4月	日本語 日本語会話 日本語理解 日本語表現						
兼任	講師	田中 真穂 (62)	平成21年4月	日本語 日本語会話 日本語理解 日本語表現						
					兼任	講師	鈴木 美貴子 (26)		日本語 日本語会話	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(21) 受講者減少のため担当教員を削除(23)
					兼任	講師	石井 稜 (65)		日本語理解 日本語表現	高橋道憲兼任講師辞任のため、担当教員の変更(22) 受講者減少のため担当教員を削除(23)
兼任	講師	東尾 正 (58)	平成21年4月	危機管理学入門Ⅱ(防災)					危機管理学入門Ⅲ	学生の履修上の混乱を避けるため、開講順に科目名称を変更。(22)
								平成22年4月	消防と防災※	教育内容の充実のため講義形式をオムニバス形式に変更し、科目担当教員を追加(22)
兼任	講師	加藤 元 (76)	平成21年4月	ヒューマン・アニメーションの科学						
					兼任	講師	亘 登志雄 (68)	平成21年4月	基礎数学	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(21)
					兼任	講師	神 和恵 (60)	平成21年4月	基礎数学	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(21)
					兼任	講師	吉川 清 (64)		基礎数学	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(22) 受講者減少のため担当教員を削減(23)
								平成22年4月	基礎数学演習	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(22)
					兼任	講師	坂本 新子 (61)	平成21年4月	基礎数学演習	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(21)
					兼任	講師	平松 早苗 (46)		CAD入門	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(22) 受講者減少のため担当教員を削減(23)
					兼任	講師	信太 義晴 (47)		CAD入門	受講者増加のため教育的配慮により担当教員追加(22) 受講者減少のため担当教員を削減(23)
					兼任	講師	松原 洋一 (42)	平成22年4月	測量学基礎 測量学応用	教育内容充実を図るため、新たに講義科目を追加(22)
兼任	講師	池田 宏 (52)	平成22年4月	分類学 植生学	兼任	講師	奥野 純児 (42)	平成23年4月	分類学	池田宏兼任講師就任辞退。3年次開講科目のため教育上支障はない。(22) 科目担当教員として兼任講師を配属(23)
					兼任	講師	星野 順子 (49)	平成22年4月	植生学	池田宏兼任講師就任辞退のため、担当教員の変更(22)
兼任	講師	下田 耕二 (53)	平成22年4月	遺伝育種学						
兼任	講師	大島 誠之助 (64)	平成23年4月	動物栄養学						
兼任	講師	外尾 亮治 (56)	平成23年4月	動物繁殖学						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	Anthony T. Tu (78)	平成22年4月	危険物質の科学	専任	准教授	堀本 政夫 (57)	平成23年4月	危険物質の科学	教育的配慮のため、科目担当教員を兼任教員から専任教員に変更(23)
兼任	講師	山本 俊政 (50)	平成22年4月	魚類学	専任	講師	桑田 孝晴 (42)	平成22年4月	魚類学	教育効果の向上のため、科目担当教員を変更(22)
				魚類飼育理論	兼任	講師	宮本 和明 (57)	平成23年4月	魚類飼育理論	山本俊政兼任講師就任辞退のため、担当教員の変更(23)
				アクアテクノロジー						

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	3	2	2	14	0	9	2	3	0	14	0	横田久里子専任助教、本間知夫専任准教授辞任、船倉武夫専任教授、吉田重臣専任准教授学部改組に伴う異動。田中厚成教授、小川信行教授を専任教授として配属。地下まゆみ助教を講師に昇任。(22) 柴原壽行教授、堀本政夫准教授を専任教員として配属(23)
(7)	(3)	(2)	(2)	(14)	(0)	[+2]	[Δ1]	[+1]	[Δ2]	[-]	[-]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	横田 久里子	平成21年8月一身上の都合により辞任。
2	准教授	本間 知夫	平成22年3月一身上の都合により辞任。
3	教授	船倉 武夫	平成22年4月学部改組に伴う専任教員の異動。
4	准教授	吉田 重臣	平成22年4月学部改組に伴う専任教員の異動。

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任をした教員の担当科目については、同一分野の専任教員が分担し科目を担当しており、教育上支障はない。また、学部改組により所属が異動になった教員担当科目については、概ね引き続き科目担当教員として教育を行っている。学生への周知方法として、前期・後期が始まる際に学科毎のオリエンテーションを実施し、学生への担当教員変更等の周知を徹底している。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画				
設置計画履行状況 調査時 (21年1月28日)	岡山理科大学理学部動物学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成21年度の岡山理科大学理学部動物学科の平均入学定員超過率は1.33倍であったが、平成22年度は1.28倍となりました。次年度入試より、さらなる是正を行います。(22)					
		入学状況					
		区分		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
岡山理科大学 理学部 動物学科	A入学定員 B入学者数 入学定員超過率B/A	人 / 人	人 40 62 1.55	人 40 45 1.12	人 40 47 1.17	倍 1.28	
設置計画履行状況 調査時 (23年2月2日)	危機管理学部航空・輸送安全学科、倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科、岡山理科大学総合情報学部建築学科の定員充足率が0.7未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科、岡山理科大学総合情報学部建築学科については、平成23年度より募集停止している。 千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科については、初年度の入学者数が定員に満たないことを反省し、学科の趣旨・理念の浸透を目指したが、結果として平成23年4月に18名の入学者と、1年目と同数であった。しかし、2年度は留学生が3名と日本人の入学者が増大し、狙いになかったものとする。3年度に向けて、学科の趣旨・理念の浸透をはかり、一層の入学者の増加を図る。					

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<危機管理学部 動物・環境システム学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育研究委員会の設置（平成18年度～平成22年度）

平成23年度より教育研究委員会を廃止し、学務部が大学協議会に諮り、FD活動を企画・実施することにした。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成19年度

第1回開催日 平成19年7月20日

出席者：薬学科教員、薬科学科教員、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、
危機管理システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学生部、教務部、企画室、
入試広報室、国際交流室、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

第2回開催日 平成19年9月3日

出席者：薬学科教員、薬科学科教員、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、
危機管理システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学生部、教務部、企画室、
入試広報室、国際交流室、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

第3回開催日 平成19年12月20日

出席者：薬学科教員、薬科学科教員、環境安全システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長、
大学事務局長代理、学生部、教務部、経理部、企画室、入試広報室、キャリアセンター、図書館、
健康管理センター、庶務部

第4回開催日 平成20年2月1日

出席者：薬学科教員、薬科学科教員、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、
危機管理システム学科教員、教職課程教員、学生部、教務部、経理部、企画室、
入試広報室、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

平成20年度

第1回開催日 平成20年4月24日

出席者：薬学部教員（3名）、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、
危機管理システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学務部、企画室、入試広報室、
キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

第2回開催日 平成20年5月22日

出席者：薬学部教員（3名）、環境安全システム学科教員、危機管理システム学科教員、教職課程教員、学務部、企画室、入試広報室、キャリアセンター、健康管理センター、

第3回開催日 平成20年6月25日

出席者：薬学部教員（3名）、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、危機管理システム学科教員、大学事務局長代理、学務部、企画室、入試広報室、キャリアセンター、健康管理センター、庶務部

第4回開催日 平成20年7月24日

出席者：薬学部教員（3名）、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、危機管理システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学務部、経理部、企画室、入試広報室、図書館、健康管理センター

第5回開催日 平成20年10月9日

出席者：薬学部教員（3名）、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学務部、経理部、企画室、入試広報室、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

第6回開催日 平成21年2月2日

出席者：薬学部教員（3名）、防災システム学科教員、環境安全システム学科教員、危機管理システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、学務部、経理部、企画室、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

平成21年度

第1回開催日 平成21年6月4日

出席者：薬学部教員（3名）、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、学習支援センター、教職課程教員、図書館、大学事務局長代理、大学事務局次長、学務部、入試広報室、経理部、企画室、キャリアセンター、健康管理センター、庶務部

第2回開催日 平成21年6月18日

出席者：薬学部教員（3名）、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、学習支援センター、教職課程教員、図書館、学習支援センター、学務部、経理部、キャリアセンター、庶務部、健康管理センター、入試広報室、国際交流室、企画室

第3回開催日 平成21年11月12日

出席者：薬学部教員（3名）、医療危機管理学科教員、危機管理システム学科教員、教職課程教員、学習支援センター、大学事務局次長、学務部、図書館、庶務部、健康管理センター、企画室

第4回開催日 平成22年2月12日

出席者：薬学部教員（3名）、医療危機管理学科教員、危機管理システム学科教員、教職課程教員、学習支援センター、大学事務局長代理、入試広報室、図書館、学務部、健康管理センター、企画室

第5回開催日 平成22年3月8日

出席者：薬学部教員（3名）、医療危機管理学科教員、動物・環境システム学科教員、教職課程教員、学習支援センター、大学事務局長代理、大学事務局次長、学務部、キャリアセンター、図書館、健康管理センター、庶務部

第6回開催日 平成22年3月18日

出席者：薬学部教員（3名）、医療危機管理学科教員、動物・環境システム学科教員、教職課程教員、大学事務局長代理、大学事務局次長、学務部、キャリアセンター、図書館、経理部、入試広報室、健康管理センター、庶務部

平成22年度

第1回開催日 平成22年5月18日

出席者：副学長、危機管理学研究科教員、薬学科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、図書館、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター、健康管理センター

第2回開催日 平成22年6月29日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、大学事務局長、図書館、学務部、庶務部、経理部、キャリアセンター、健康管理センター

第3回開催日 平成22年8月3日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、薬学科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、航空・輸送安全学科教員、留学生別科長、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター、健康管理センター

第4回開催日 平成22年9月1日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、薬学科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、図書館、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター、健康管理センター

第5回開催日 平成22年9月15日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、図書館、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター、

第6回開催日 平成22年9月29日

出席者：学長、危機管理学研究科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、医療危機管理学科教員、教職課程教員、留学生別科長、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、国際交流室、学習支援センター、キャリアセンター、健康管理センター、薬学部長、危機管理学部長

第7回開催日 平成22年10月12日

出席者：学長、副学長、学長補佐、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、薬学科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、医療危機管理学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、大学事務局長、図書館、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター、健康管理センター、薬学部長、危機管理学部長

第8回開催日 平成22年11月10日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、薬学科教員、生命薬科学科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、大学事務局長、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、

第9回開催日 平成22年12月1日

出席者：副学長、薬科学研究科教員、危機管理学研究科教員、薬学科教員、危機管理システム学科教員、動物・環境システム学科教員、航空・輸送安全学科教員、教職課程教員、留学生別科長、大学事務局長、学務部、図書館、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター

第10回開催日 平成22年12月24日

出席者：危機管理学研究科教員、生命薬科学科教員、動物・環境システム学科教員、医療危機管理学科教員、航空・輸送安全学科教員、留学生別科長、大学事務局長、図書館、学務部、庶務部、経理部、入試広報室、学習支援センター、キャリアセンター

c 委員会の審議事項等

平成19年度 第1回開催（平成19年7月20日）

1. 平成19年度教育研究委員会委員について
2. FDについて
3. 授業アンケートの取扱いについて

報告：認証評価説明会参加報告

平成19年度 第2回開催（平成19年9月3日）

1. 自己評価・認証評価について
2. FDについて
3. 授業アンケートの取扱いについて

平成19年度 第3回開催（平成19年12月20日）

1. 学生による授業アンケート結果の公表について
2. 大学認証評価について
3. その他、公開授業について

平成19年度 第4回開催（平成20年2月1日）

1. 千葉科学大学の教育と学生生活について（アンケートの実施について）
2. 大学基準協会主要点検評価項目について

報告：メディア教育開発センターの主催するセミナー出席報告

平成20年度 第1回開催（平成20年4月24日）

1. 副委員長の選出について
2. 大学認証評価について
3. 卒業生による授業アンケート結果について
4. その他

平成20年度 第2回開催（平成20年5月22日）

1. 第三者評価の進め方

平成20年度 第3回開催（平成20年6月25日）

1. 授業アンケートについて
2. 自己評価について

報告：FD講演会の実施、シラバスについて、研修会の内容について

平成20年度 第4回開催（平成20年7月24日）

1. 学生による授業アンケートの開示について
2. 所見書について

報告：FD講演会実施報告、教育学術充実協議会出席報告

平成20年度 第5回開催（平成20年10月9日）

1. 学生による授業アンケート（後期）について
2. 公開授業について
3. 2009年度授業日程計画（案）について
4. シラバスの内容について
5. その他

報告：自己評価進捗状況、学生及び保護者アンケートの実施、FD実施報告、アンケートの公開期間

平成20年度 第6回開催（平成21年2月2日）

1. 編集の進め方について
2. 今回の編集について
3. 担当項目について
4. その他

平成21年度 第1回開催（平成21年6月4日）

1. 委員長の選出について
2. 大学認証評価について
3. アンケートについて

平成21年度 第2回開催（平成21年6月18日）

1. 自己点検・評価スケジュール（案）について
2. アンケートについて
3. 平成21年度FD・SDについて
4. その他

平成21年度 第3回開催（平成21年11月12日）

1. シラバスの様式について
2. 授業アンケートの公開について
3. 公開授業について

平成21年度 第4回開催（平成22年2月12日）

1. アンケートの実施について
2. 公開授業について
3. FD・SD研修会の実施について
4. その他

平成21年度 第5回開催（平成22年3月8日）

1. 所見書について
2. その他

平成21年度 第6回開催（平成22年3月18日）

1. 千葉科学大学教育研究委員会規程（案）について
2. 千葉科学大学研究者の行動規範（案）について
3. 千葉科学ヒトを対象とする研究に関する倫理規程（案）について
4. 千葉科学大学研究倫理審査委員会（仮称）規程について
5. 千葉科学大学利益相反行為の防止等に関する規程（案）について
6. 千葉科学大学における研究活動に係る不正行為への対応に関する規程（案）について
7. 千葉科学大学情報セキュリティポリシー（案）について

平成22年度 第1回開催（平成22年5月18日）

1. 副委員長の選出について
2. 大学認証評価について
3. 公開授業の実施時期と方法について
4. FDについて
5. その他

平成22年度 第2回開催（平成22年6月29日）

1. 実地視察に向けて
2. 千葉科学大学3つのポリシーについて
3. その他

平成22年度 第3回開催（平成22年8月3日）

1. 千葉科学大学3つのポリシーについて
2. 実地視察にかかる学生インタビューについて
3. 授業アンケートについて
4. その他

平成22年度 第4回開催（平成22年9月1日）

1. 千葉科学大学3つのポリシーについて
2. 到達目標に基づいた改善・改革の実施状況について
3. その他

平成22年度 第5回開催（平成22年9月15日）

1. 分科会報告書（案）について
2. ポリシーについて
3. 授業アンケートのHP上での公開について
4. その他

平成22年度 第6回開催（平成22年9月29日）

1. 分科会報告書（案）回答について
2. その他

平成22年度 第7回開催（平成22年10月12日）

1. 分科会報告書（案）回答案の検討について
2. その他

平成22年度 第8回開催（平成22年11月10日）

1. 公開授業について
2. 自己点検評価回答に付した検討事項等について
3. 授業案ケートの取り扱いについて
4. その他

平成22年度 第9回開催（平成22年12月1日）

1. 学生生活アンケート結果について
2. 公開授業について
3. 新学科の設置について
4. 平成23年度カリキュラムについて
5. その他

平成22年度 第10回開催（平成22年12月24日）

1. 平成23年度カリキュラム変更について
2. 大学基準協会の評価結果（案）について
3. その他

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD講演会開催
- ・公開授業実施
- ・学生による授業アンケート実施（毎年2回 前期、後期）
- ・教職員の意見交換会の実施

b 実施方法

- ・FD講演会については外部講師を招き開催した。
- ・公開授業についてはFDの一環として薬学部・危機管理学部から各3つの授業を全教職員を対象に実施した。
- ・学生による授業アンケートについてはすべての授業に置いて学生に無記名アンケートを配布し実施した。
- ・教職員の意見交換会は世代ごとに少人数のグループに別れ、学長、副学長、学長補佐、大学事務局長、大学事務局次長参加のもと、実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD講演会

- ・平成19年11月 「我が国の今後の高等教育政策と私立大学の経営戦略」（参加人数50人）
- ・平成19年12月 「地域と共に活性化するための経営戦略」（参加人数133人）
- ・平成20年 7月 「公的資金取扱いにかかるコンプライアンスについて」「経費の取扱いについて」（参加人数118人）
- ・平成20年 7月 「科学研究費助成金と私立大学」（参加人数38人）
- ・平成20年 8月 加計学園研修会「加計学園事務研修会」（参加人数44人）
- ・平成20年 9月 「メンタル面で問題を抱えている学生に対する指導について」（参加人数103人）
- ・平成20年10月 「大学の活性化」（参加人数76人）
- ・平成20年11月 「JMA海外大学視察に参加して」（参加人数21人）
- ・平成20年12月 加計学園研修会「加計学園教学改革フォーラム」（参加人数64人）
- ・平成20年12月 「将来構想を考えるにあたって」（参加人数85人）
- ・平成21年 1月 「大学の評価と課題について」（参加人数71人）
- ・平成21年 1月 加計学園研修会「いま私学に最も求められるもの」（参加人数20人）
- ・平成21年 1月 「岡山理科大学学外連携推進室の役割と活動状況について」（参加人数32人）
- ・平成21年 1月 「大学・学部・学科の教育目標を踏まえた将来像について」（参加人数85人）
- ・平成21年 2月 加計学園研修会「あなたの一步が未来を決める」（参加人数36人）
- ・平成21年 3月 加計学園研修会「3大学教育改革プログラム意見交換会」（参加人数34人）
- ・平成21年 4月 企業の最新動向と採用最前線（参加人数38人）
- ・平成21年 8月 企業の採用活動の動向、今年度の就職活動の総括 良い企業の選び方など（参加人数55人）
- ・平成21年 9月 学生への対応（参加人数90人）
- ・平成21年11月 本田宗一郎が語る「Hondaの原点」－本田宗一郎の夢物語－（参加人数121人）
- ・平成21年11月 教育について（参加人数54人）
- ・平成21年11月 加計学園第11回研修会（参加人数72人）

- ・平成22年 3月 大学制度と大学教員（参加人数52人）
- ・平成22年 4月 平成22年度第1回加計学園事務研修会 第1部（参加人数28人）
- ・平成22年 4月 平成22年度第1回加計学園事務研修会 第2部（参加人数24人）
- ・平成22年 6月 平成22年度第1回加計学園教職員研修会「学生・生徒の心のケア対応について」（参加人数46人）
- ・平成22年 7月 平成22年度第2回加計学園事務研修会「法人総務部、大学庶務部及び事務部（室）部門における労務管理及び業務連携について」（参加人数32人）
- ・平成22年 7月 日本私立大学協会主催 第1回教育学術充実協議会報告～大学教育力の強化に向けた内部質保証の実質化～（参加人数70人）
- ・平成22年 9月 平成22年度第3回加計学園事務研修会「学校会計の基礎と財務部・監査室の業務について」（参加人数45人）
- ・平成22年 9月 思春期・青年期 -心療内科の現場より-（参加人数91人）
- ・平成22年11月 松本大学地域連携取組の視点と地域活性化（参加人数68人）
- ・平成23年 1月 平成22年度第5回加計学園事務研修会（40歳以下対象）（参加人数30人）
- ・平成23年 2月 コミュニケーション研修「自己の探求Ⅰ（半日バージョン）」（参加人数30人）

公開授業

- 第1回 平成19年10月 「薬物動態学Ⅱ」薬学部薬学科3年次対象（参加人数40人）
- 第2回 平成19年11月 「セキュリティ論」危機管理学部危機管理システム学科2年次対象（参加人数32人）
- 第3回 平成20年11月 「統計学」薬学部薬学科1年次対象（参加人数8人）
「耐震・免震の科学Ⅰ」危機管理学部防災システム学科2年次対象（参加人数10人）
「人間の心理」危機管理学部防災システム学科1～4年次対象（参加人数10人）
「製剤学Ⅰ」薬学部薬学科2年次対象（参加人数16人）
「生化学Ⅱ」危機管理学部環境安全システム学科2～4年次対象（参加人数7人）
- 第4回 平成21年12月 「薬品分析学Ⅰ」薬学部1年次対象（参加人数10人）
「セキュリティ論」危機管理学部危機管理システム学科2年次対象（参加人数10人）
「臨床外科学Ⅳ」危機管理学部危機管理システム学科3年次対象（参加人数7人）
「リサイクルシステム」環境安全システム学科3年次、危機管理システム学科3年次対象（参加人数7人）
「薬品合成化学Ⅱ」薬学部薬学科2年次、薬科学科2年次対象（参加人数15人）
- 第5回 平成22年12月 「免疫検査学Ⅰ」危機管理学部医療危機管理学科2年次対象（参加人数8人）
「薬用資源学」薬学部薬学科1年次対象（参加人数9人）
「海洋と生物」危機管理学部動物・環境システム学科1年次対象（参加人数13人）
「薬品物理化学Ⅰ」薬学部薬学科1年次対象（参加人数8人）
「基礎薬理学」薬学部薬学科2年次対象（参加人数8人）
「危機管理と社会制度」危機管理学部危機管理システム学科1年次対象（参加人数11人）

授業アンケート

- ・すべての開講科目について無記名アンケートを実施した。

教職員の意見交換会の実施

- ・2010年7月から9月に専任教職員を年代ごとに分け、計7回の意見交換会を実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

より能動的に教育改善が実行される環境をつくることを目指すため、FD活動の重要性・有用性を全教職員に周知徹底を図った。また、授業アンケートの結果を踏まえ、授業担当教員の所見を添付した上、集計結果を全教職員、学生に開示するとともに、学生から高評価であった授業を各教員の授業改善の参考とすべく、公開授業を実施し、授業改善に取り組んでいる。更に、教職員の意見交換会を実施し、教職員が日頃考えている改善・改革の方策を学長等執行部に提案等をする場を設け改善に努めている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙1のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成23年5月1日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、企業、関連大学及び教職員に配布。
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成23年5月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の認証評価を受け、適合（2018年3月31日まで）と判定されたが、薬科学研究科、危機管理学研究科は、申請資格充足年度を経たおらず、評価の対象とはならなかった。このため、2014年7月末までに報告書を提出することになっている。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2011 年 6 月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www.cis.ac.jp)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

(3) 自己点検 評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 設置の趣旨

千葉科学大学は学園の建学の理念「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として、社会人として社会に貢献できる人材を養成する」のもと、「健康で安全・安心な社会の構築」に寄与できる人材の養成をその主要な目的としている。環境問題もその重要性は益々高くなっており、その中では京都議定書の発効や洞爺湖サミットの決議からも地球温暖化対策、安全な水資源の確保、野生生物の保護、生物多様性の確保といった項目に重点が置かれるようになってきている。動物・環境システム学科では、環境分野での主要な問題点が、地球温暖化とCO₂排出削減を中心としたエネルギーと廃棄物の問題、水資源の確保と多様な生態系の維持に集約されてきている現状から、これらの分野に対応できる人材の養成が急務と考え教育を行うものである。

2 設置の目的

学術の中心として理論及び応用を極めると共に、幅広い知識と技能を研究・教授し、生活と健康を維持しうる循環型社会を作り上げ、平和で文化的な社会の発展に寄与しうる有為な人材を養成することを目的とする。

3 所見

動物・環境システム学科として平成23年4月に3年目の新入生を迎え、設置主旨や目的を成就するために、教育課程の編成や指導体制の構築に基づき学科運営を進めている。さらに本年度は、専任教員の異動として、ヒューマンアニマルボンド同好会の指導を行っており、犬やウサギなどの中型動物とその寄生生物の専門家である教授と、ネズミなどの小動物とその代謝の専門家である准教授の2名を学科に加えて、設置趣旨に適合する専門的教育のいっそうの充実を図った。

新入生に対しては、入学式後の4月9日に1泊研修旅行を行い、学園の歴史と理念についての説明と教育課程の流れ、そして科目履修の方法などオリエンテーションを行った。さらに、人間関係構築を促すレクレーションを行い、学生間および教員との親睦を深めた。

また、学生20~30名を指導担当する本学教員のチューターにより、学習面ばかりでなく生活面も含めたきめ細かな指導を行っている。さらに留学生には独自の留学生チューターを設け、学習意欲を向上させるよう努力している。5月末から6月にかけてはチューターが個人面談を行い、現在の体調面や生活面、勉学状況について教員が把握すると共に的確な指導を行った。勉学面では基礎学力を十分に習得でき、さらに入学者の多様化に対応するため今後の学習の基軸となる英語について習熟度別クラス編成で授業を行っている。また、近年の高校卒業生の学力低下に対応して、基礎科目の数学、化学、物理学、生物学などは、

基礎内容の確認と定着に注力して講義を行っている。さらに、授業で理解できなかったところを補習できるよう「学習支援センター」に、いつでも質問をうけられるよう場所と担当教員を配置している。

学生の健康維持・増進と体力の向上を推進させるために「健康管理センター」を設置している。健康管理センターでは専任の看護師、保健師が学生、教職員の健康管理、疾病および外傷の応急処置などの専門的業務を行っている。さらに週 2 回非常勤の臨床心理士、月 1 回の非常勤の心療内科医が勤務し、学生の精神的バックアップなど学生生活への支援を行っている。

就職に当たっては、「キャリアセンター」を設置している。3 年生の新学期オリエンテーション時に、就職活動に関するセミナーを行い、リクナビやマイナビなどの就職情報取得手段の案内を行っている。さらに、就職に当たってのマナー教室等を実施し、就職活動中の悩みや不安に対応する心理士によるカウンセリングを実施している。